

## 技術資料 (TDS)

作成日 2020/01/27

## ・ 特質・特性

AKEMI®Marble Fillers 1000 Transparent Waterclear と Transparent L-Specialは、スチレンに溶解した不飽和ポリエステル樹脂をベースとした、紫外線によって変色しない、液体状またはゲル状の2液性製品です。

下記の特性があります。

- － 異なる整合性のために幅広い適用分野
- － 無色なので主に明るい素材や透明-クリスタル系の天然石によく合う
- － 硬化時間がかかり、引張強度も低いので、角部分やエッジ部分に使用するのがよい
- － 研磨しやすい
- － 高温でも天然石に非常に良好な接着力
- － 水、石油、鉱油に耐性

## ・ 適応範囲

AKEMI®Marble Fillers Waterclear は、主に明るめ・白っぽい石材、透明-クリスタル系の天然石（例：Carrara, Onyx, Palisandro, Estremozもしくはその類のもの）の接着、穴埋めに使用されます。立体的な仕上がりになるよう、無色透明の液状で、接着部も透明になります。

AKEMI®Polyester Colouring PasteもしくはAKEMI®Polyester Colouring ConcentratesをAKEMI®Marble Fillers Transparent Waterclear L-Special に少量を加え、角、エッジ部分を型どる、もしくは大きな穴を埋めることができ、仕上がりは素材そのものを復元し、全く目立たなくなります。クリスタル系の天然石に適用する際は、充填剤に砕いた粒状の材料を混ぜる事で石の構造に似せる事が出来ます。

結晶天然石に適用する際は、石の結晶構造に似せるために充填剤に砕いた粒状の材料を混ぜる事を推奨します。

## ・ 使用方法

1. 被着体表面の水分と汚れを除去しておく。完全に乾燥させ、粗面にします。
2. 着色する場合はAKEMI Polyester Colouring PasteもしくはAKEMI Polyester Colouring Concentrate を最大5%まで使用できます。  
Thinner Sを最大8%加えることにより材料を希釈することができます。
3. 100gのFillerに対し、1-2gの硬化剤B-liquid(35-70滴)を加えます。
4. 両方の成分をよく混ぜてください。施工は約12-24分程で仕上げてください。（20度の環境）
5. およそ6-8時間後には耐久性が高まり、およそ12時間後には次の工程に取り掛かることができます。  
（研磨・粉碎・ドリル）
6. 熱すると硬化時間を早め、温度を下げると硬化時間が遅くなります。
7. 使用道具は AKEMI Nitro-Dilution で洗えます。

## ・ 特記事項

- － 手袋を使用し手を保護してください。
- － Waterclear製品のみHardener B liquidで硬化します。
- － 2%を超える硬化剤は着色に影響する場合があります。

- 硬化剤の割合が1%未満で、低温（5°C未満）である場合、硬化がかなり遅くなります。  
長期にわたり50度以上の熱が加わると着色と粘着力の低下の原因になります。
- 頻繁に湿度と霜にさらされる場合、接着の非耐久性が高まります。
- 新鮮なアルカリ性の建材は接着力を和らげます（例：コンクリート、コンクリートレンガ）。
- 硬化した充填剤は黄変する傾向があります。
- 一旦硬化すると、溶剤を使用しても充填材を除去することができません。  
除去は、機械的にのみ、または高温（> 200°C）によってのみ可能です。
- 通常、硬化した充填剤は健康に有害ではありません。

・ 技術データ

色	無着色透明（Waterclear） 無着色乳発色（Waterclear L-Sp.）
比重	1.12～1.18 g/ cm <sup>3</sup>
粘度	Waterclear 液状 Waterclear L-Special ゲル状
可使時間（硬化剤を混合してから使用できる時間（分））	
a) 20°C（雰囲気温度）の場合	
1%の硬化剤	20-24
1.5%の硬化剤	16-20
2%の硬化剤	12-16
b) 1.5%の硬化剤添加の使用	
10°C（雰囲気温度）	35-40
20°C（雰囲気温度）	16-20
30°C（雰囲気温度）	7-10

引張り強度 DIN 53455 : 50N/mm<sup>2</sup>

曲げ強さ DIN 53454 : 80N/mm<sup>2</sup>

- ・ 保管期間 約 1 年密閉された低温場所での保管に限る。
- ・ 健康と安全 使用前に MSDS を一読ください。
- ・ 重要な注意事項

上記の記述は技術開発と適応技術を基本としていますが、使用に当たっては多種多様の要因が考えられるので、まず、テストピースにて予備テストをしてから確認の上実際の使用をしてください。